

令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校（社会）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は6問6ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校 社会

1

次の表は、2002年以降のFIFAワールドカップの開催国（開催予定国）をまとめたものである。下の（1）～（7）に答えよ。

表

開催年	開催国（開催予定国）	開催時期（予定）
2002	日本／韓国	5月下旬～6月下旬
2006	ドイツ	6月上旬～7月上旬
2010	南アフリカ	6月中旬～7月中旬
2014	ブラジル	6月中旬～7月中旬
2018	ロシア	6月中旬～7月中旬
2022	カタール	11月中旬～12月中旬
2026（予定）	（アメリカ／カナダ／メキシコ）	（6月中旬～7月中旬）

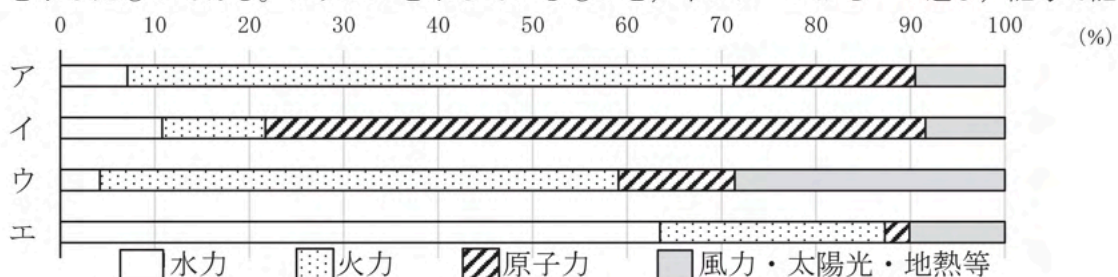
（「日本サッカー協会ホームページ」等より作成）

- （1） 表中の開催国（開催予定国）を見ると、世界の6州のうち、2002年以降にFIFAワールドカップが開催されていない（開催予定になっていない）州がある。その州の名称を記せ。
- （2） 表中のカタールについて、開催時期が他と異なっている最も適切な理由を、簡潔に記せ。
- （3） 表中の日本と韓国は、右の地図中のA～Eのどの緯線の間に位置しているか、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で記せ。なお、A～Eの緯線は15度間隔で引かれているものとする。



- ア. AとBの間 イ. BとCの間
 ウ. CとDの間 エ. DとEの間

- （4） 次のグラフは、アメリカ、ドイツ、ブラジル、フランスの発電エネルギー源別割合（2019年）を示したものである。ブラジルを示しているものを、下のア～エから一つ選び、記号で記せ。



（「世界国勢図会 2022/23」より作成）

- （5） 表中の南アフリカで大量に産出される、クロムやマンガンなどの希少金属の名称をカタカナで記せ。
- （6） 次の文は、表中のロシアのシベリア地域などで多く見られる高床式の建物について述べたものである。文中の にあてはまる最も適切な内容を、簡潔に記せ。

高床式の建物はロシアのシベリア地域だけでなく、気候の異なる地域でも見られる。熱帯のインドネシアでは、夏季の河川の増水に備え、家屋内への浸水を防ぐために高床式にしている。一方、ロシアでは、 ために高床式にしている。

- （7） 表中のアメリカ、カナダ、メキシコの間で、2020年7月1日にアメリカ・メキシコ・カナダ協定（USMCA）が発効し、それにともない終了することになった貿易協定の名称を記せ。

2

次の表 I は、国際連合食糧農業機関（FAO）により世界農業遺産に認定された、日本の各地域をまとめたものである（一部地域は省略）。下の（1）～（7）に答えよ。

表 I

認定年	都道府県名と認定地域	農林水産業システムの名称
2013	静岡県掛川周辺地域	「静岡の①茶草場農法」
2013	大分県国東半島宇佐地域	「クヌギ林と②ため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」
2015	岐阜県長良川上中流域	「③清流長良川の鮎—里川における人と鮎のつながり—」
2015	和歌山県みなべ・田辺地域	「みなべ・田辺の④梅システム」
2017	宮城県大崎地域	「持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の⑤伝統的水管理システム」
2022	山梨県峡東地域	「峡東地域の（ a ）に適応した果樹農業システム」

（「農林水産省ホームページ」より作成）

- （1） 表 I の下線部①に関連して、次の表 II は、茶の生産が盛んである静岡県、三重県、宮崎県、鹿児島県における、農業産出額、海面漁業漁獲量、製造品出荷額等を示したものである。静岡県を示しているものを、下のア～エから一つ選び、記号で記せ。

表 II

	農業産出額 (億円) 2020 年	海面漁業漁獲量 (千 t) 2020 年	製造品出荷額等 (億円) 2019 年
ア	1 887	184	172 749
イ	1 043	125	107 685
ウ	3 348	119	16 523
エ	4 772	54	20 247

（「日本国勢図会 2022/23」より作成）

- （2） 表 I の下線部②に関連して、ため池は国東半島だけでなく、瀬戸内地域や奈良盆地等でも見られる。これらの地域にため池が造成される最も適当な理由を、簡潔に記せ。
- （3） 次の文は、表 I の下線部③について述べたものである。文中の（ ） にあてはまる語句を、漢字 6 字で記せ。

長良川の清流が保たれることにより、水と密接なつながりのある美濃和紙は（ ）として、現代に引き継がれている。

- （4） 表 I の下線部④に関連して、この地域では、高品質な梅を持続的に生産する梅システムを推進するために 6 次産業化に取り組んでいる。6 次産業化とは何か、簡潔に記せ。
- （5） 表 I の下線部⑤に関連して、この地域で、深水管理（田に深く水を入れる）や、ぬるめ水路（いったん温めた水を引水する）等の農業技術が見られる理由を、東北地方の太平洋側に影響を与える風の名前に触れて、簡潔に記せ。
- （6） 表 I 中の（ a ）にあてはまる地形の名称を記せ。
- （7） 身近な地域で聞き取り調査を行う際の手法として、適当でないものを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

- ア. 相手の方が答えやすいようにするため、質問事項は短く、具体的にまとめておく。
 イ. 自分たちの仮説が正しかったかどうかを判断するため、事前に想定される答えを考えておく。
 ウ. 相手の方が自由に話せるようにするため、質問の内容や優先順位を決めずに聞き取りを行う。
 エ. 急に訪ねると失礼になるため、事前に相手の方に連絡を取り、許可をもらう。

3

次の略年表を見て、下の(1)～(7)に答えよ。

略年表

時代	できごと
古代	<ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇と光明皇后は、都に a <u>東大寺</u> を、地方に国分寺や国分尼寺を建てる ・清少納言によって b <u>枕草子</u> が書かれる
中世	<ul style="list-style-type: none"> ・ c <u>運慶</u>、<u>快慶</u>らにより<u>金剛力士像</u>が造られる ・イタリアの都市で d <u>ルネサンス</u>が始まり、ヨーロッパ各地へ広まる
近世	<ul style="list-style-type: none"> ・畳を敷いて床の間を設けた e <u>書院造</u>が生まれる ・ f <u>三味線</u>に合わせて語られる浄瑠璃が流行する

- (1) 略年表中の下線部 a に関連して、東大寺の倉庫である正倉院には、現在の中国やインド、西アジアの品など数多くの宝物がおさめられている。正倉院が建てられたころの中国の王朝を、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 漢 イ. 隋 ウ. 秦 エ. 唐

- (2) 略年表中の下線部 b に関連して、ある生徒は資料 A、資料 B を見たところ、すぐに資料 A が下線部 b と同時期に書かれた作品であると分かった。ある生徒がこのように判断したと考えられる最も適当な理由を、簡潔に記せ。

※著作権法により掲載を省略します。

- (3) 次の文は、略年表中の下線部 c に関連して、この時代の文化について述べたものである。文中の()にあてはまる語句を記せ。

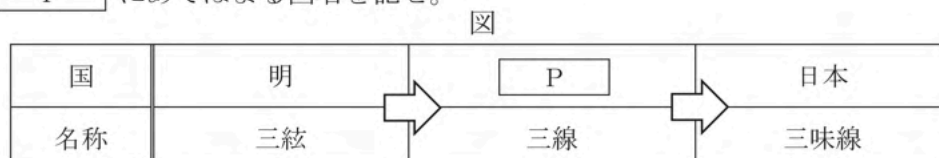
この時代には、貴族を中心とする伝統文化に加え、力を伸ばした()や民衆の力強さが表れた新しい文化が生まれた。

- (4) 略年表中の下線部 d よりも前に起きたできごとを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. イギリスのエリザベス 1 世は、インドを拠点とした貿易会社を設立し、海外へ進出した。
 イ. 神聖ローマ帝国の皇帝ハインリヒ 4 世は、イタリアのカノッサでローマ教皇に謝罪した。
 ウ. イグナティウス＝ロヨラらにより組織されたイエズス会は、海外で布教活動を行った。
 エ. マゼランの率いるスペインの船隊は、世界一周を達成し、地球が丸いことを証明した。

- (5) 略年表中の下線部 e に関連して、この時代から盛んになり、華やかな姿をした人々が踊る風流と念仏踊りが結びついて、現代にも引き継がれている民衆芸能の名称を記せ。

- (6) 略年表中の下線部 f に関連して、次の図は、三味線のルーツをまとめたものである。図中の にあてはまる国名を記せ。



- (7) 次の文は、近世の各時期で見られた文化の特徴を述べたものである。下のア～ウを、年代の古い順に並び替え、記号で記せ。

ア. 上方とよばれる大阪や京都を中心に、町人たちを担い手とする文化
 イ. 権力や富を誇った大名や豪商たちによってつくられた豪華で力強い文化
 ウ. 経済や文化の中心だった江戸の町人の好みを反映して生まれた文化

4

次の[A]～[E]のカードは、西暦で表した際に、末尾が3の年に日本と世界で起きた近現代のできごとや日記を示したものである。下の(1)～(7)に答えよ。なお、カードは[A]から年代の古い順に並んでいるものとする。

[A] 富国強兵の政策を進めるために必要となる財源を安定させる改革が行われた。

[C] 松岡洋右ら日本全権団は、国際連盟の臨時総会で可決された勧告案に反対し、総会の場から退場した。

[E] G7広島サミットが開催され、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」等の声明が発表された。

[B] 地震で屋根瓦のずり落ちたのを見たとき、飛び火でだんだんと燃え広がっていくのを目撃したとき、実は初めて危険を感じた。
 ……(以下略)…
 (「日記に読む近代日本」より要約・抜粋)

[D] 石油危機の影響で物価が急上昇し、生活必需品の不足への不安から、消費者が売り場に殺到し、混乱を引き起こした。

- (1) 中国から日本に伝えられた年代の表し方で、令和や平成、明治などを総称して何というか、名称を記せ。
- (2) カード[A]に関連した右の資料の()にあてはまる語句を記せ。
- (3) カード[B]について、この日記に書かれているできごととは何か、名称を記せ。
- (4) カード[C]に関連して、その後、日本は国際連盟を脱退したが、国際連盟脱退の要因となった勧告案の内容を、簡潔に記せ。
- (5) カード[D]に関連して、日本の石油危機の原因となったイスラエルとほかのアラブ諸国との戦争を何というか、正式名称で記せ。
- (6) カード[E]について、G7のメンバーを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。
 ア. オーストラリア イ. 中国 ウ. 韓国 エ. イタリア
- (7) 次の文は、カード[A]～[E]のどの間のできごとか、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

今般()ニ付、旧来田畑貢納ノ法ハ悉皆相廢シ、更ニ地券調査相済次第、土地ノ代価ニ随ヒ百分ノ三ヲ以テ地租ト相定ムヘキ旨仰セ出サレ候条、改正ノ旨趣別紙条例ノ通相心得ベシ。
 (「法令全書」より抜粋)

ソ連の指導者スターリンが死去すると、朝鮮戦争をめぐる休戦交渉は急速に進展し、7月に板門店で休戦協定が締結された。

- ア. カード[A]とカード[B]の間 イ. カード[B]とカード[C]の間
 ウ. カード[C]とカード[D]の間 エ. カード[D]とカード[E]の間

5 次の(1)～(7)に答えよ。

- (1) 次の文は、身近な場面で見られる効率と公正について述べたものである。文中の にあてはまる最も適切な内容を、簡潔に記せ。

多くのコンビニエンスストアのレジでは、順番を待つ人はレジごとではなく一列に並び、空いたレジを順次利用するという方法が採られている。この方法が採られた最も適切な理由を効率、公正の視点で見ると、以下のように表すことができる。

効率：レジで連続して会計ができるため、無駄がなく効率がよい。

公正：

- (2) 次の表は話し合いにおける採決の仕方の長所、短所をまとめたものである。表中の にあてはまる最も適切な内容を、簡潔に記せ。

表

採決の仕方	長所	短所
全会一致	みんなが納得する。	決定に時間がかかることがある。
多数決	一定の時間内で決定できる。	<input type="text" value="Y"/>

- (3) 次の文は、立憲主義について述べたものである。文中の(①)、(②)にあてはまる語句を、それぞれ記せ。

憲法によって国家権力を制限し、国民の人権を保障しようとすることを立憲主義という。立憲主義を実現するために、憲法は国の(①)として位置づけられている。法律をつくる国会では、憲法に反する法律をつくることはできない。もし、国会が憲法に反する法律をつくったときは、裁判所がこの法律を無効にすることができる。このように国民の権利が守られるしくみを、(②)という。

- (4) 日本の選挙の主な課題の一つに一票の格差がある。一票の格差が大きくなると最高裁判所が、日本国憲法に規定されている「ある権利」に反するという判決を出すことがある。「ある権利」とは何か、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 法の下での平等 イ. プライバシーの権利 ウ. 経済活動の自由 エ. 生存権

- (5) 2023年4月1日に発足した、こども家庭庁を外局にもつ国の行政機関の名称を記せ。

- (6) 右の資料は、民泊に関するリーフレットである。日本では、旅館業法の許可を得る等しなければ民泊の営業は行えなかったが、2017年の住宅宿泊事業法成立により、都道府県知事等に届け出を行うことでも、年間180日を上限に民泊の営業が可能となった。このような、許認可権を見直す行政改革を何というか、名称を記せ。

※著作権法により
掲載を省略します。

(「民泊を始めるにあたって」総務省消防庁・住宅宿泊協会)

- (7) 日本の政治は、三権分立の仕組みを採っている。この仕組みは、国民にどのようなことをもたらしているか、「集中」、「国民」という語句を使って簡潔に記せ。

6

次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の文は、経済に関する基本的な概念の一部について述べたものである。文中の(A), (B)にあてはまる語句を、それぞれ記せ。なお、文中の(A), (B)にはそれぞれ同じ語句が入るものとする。

経済は(A)と(B)によって成り立っている。私たちは、ある職業を選択することで(A)に加わり、自分が生産した財やサービスを、他の人が生産した財やサービスと(B)することで、さまざまな必要を満たしている。

- (2) 次の文は、企業の社会的責任(CSR)について述べたものである。文中の(Q)にあてはまる語句を記せ。なお、(Q)には同じ語句が入るものとする。

企業は消費者が安心して商品を購入できるように、その品質に責任をもつだけでなく、みずからの活動が社会に及ぼす影響についても配慮する必要がある。このため、企業は(Q)を徹底させ、利害関係者に対して、企業の社会的責任(CSR)を果たしていくことが求められている。(Q)を徹底することは、社会から信用を獲得し、企業価値を維持することにつながる。

- (3) 次の文は、中学校学習指導要領解説「社会編」の一部である。下の①～④に答えよ。

(2) 国民の生活と政府の役割

・・・(中略)・・・課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(7) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、a 少子高齢社会における b 社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解すること。

(i) c 財政及び d 租税の意義、国民の納税の義務について理解すること。

・・・(以下略)・・・

- ① 文中の下線部 a に関連して、「令和 2 年国勢調査 人口等基本集計結果（山梨県の概要）」によると、平成 27 年調査より、山梨県の人口は 24,956 人減少している一方で、世帯数は 7,877 世帯増加している。人口が減少しているにもかかわらず、世帯数が増加している最も適当な理由を、簡潔に記せ。
- ② 文中の下線部 b に関連して、所得を正確に把握して給付と負担の公平を図ることや、行政手続きを簡素化して人々の利便性を高めることなどを目的に、2016 年より導入された制度の名称を記せ。
- ③ 文中の下線部 c に関連して、国債費を除いた支出を、公債発行に頼らずに税収でまかなえているかを示す数値の名称をカタカナで記せ。
- ④ 文中の下線部 d に関連して、租税の基本原則の一つである公平に注目すると、公平には垂直的公平と水平的公平の二つの側面がある。垂直的公平の考え方により徴収している国税を、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 消費税

イ. 自動車税

ウ. 所得税

エ. 酒税

中学校社会 解答例

1	(1)	オセアニア州	2	3	(6)	琉球王国	2
	(2)	6月～7月のカタールは厳しい暑さが続くため。	2		(7)	イ → ア → ウ	3
	(3)	イ	2	4	(1)	年号（元号）	2
	(4)	エ	2		(2)	地租改正	2
	(5)	レアメタル	2		(3)	関東大震災	2
	(6)	建物から出る熱が永久凍土をとかし，建物が傾いてしまうのを防ぐ	3		(4)	満州国を認めず，日本に占領地からの撤兵を求めるという内容	3
	(7)	北米自由貿易協定（NAFTA）	2		(5)	第四次中東戦争	2
2	(1)	ア	3	5	(6)	エ	2
	(2)	降水量が少なく，水を得にくい地域だから。	3		(7)	ウ	3
	(3)	伝 統 的 工 芸 品	2		(1)	並んだ順番で平等にレジに進むことができる。	3
	(4)	農業を1次産業としてだけでなく，加工などの2次産業，さらにはサービスや販売などの3次産業まで含め，1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするもの。	3		(2)	少数意見が反映されにくい。	3
	(5)	夏に東北の太平洋側で吹く冷たく湿った季節風である「やませ」による冷害対策のため。	3		(3)	① 最高法規 ② 法の支配	各2
	(6)	扇状地	2		(4)	ア	2
	(7)	ウ	2		(5)	内閣府	2
3	(1)	エ	2	6	(6)	規制緩和	2
	(2)	資料Aは，かな文字で書かれているため。	3		(7)	国の権力が一つの機関に集中することを防ぐので，国民の自由と権利が守られる。	3
	(3)	武士	2		(1)	A 分業 B 交換	各2
	(4)	イ	2		(2)	コンプライアンス（法令遵守）	2
	(5)	盆踊り	2		(3)	① 高齢者などの単独世帯が増加したから。	3
					② マイナンバー制度 ③ プライマリー・バランス	各2	
					④ ウ	3	